



Governor slogan

No try No change! Wa(和)

Keyword

# 四国

No.3 1.2.3

第105号

平成31年4月15日発行

# We Serve

2018~2019  
DIST.336-A

The International Association  
Of Lions Clubs

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区 地区誌



# 「102年、総社からWe Serve」

ライオンズクラブ国際協会336複合地区

## 第65回 年次大会in総社

期日 2019年 5月26日(日) ●総社市スポーツセンター  
●きびじアリーナ

大会ホストクラブ

6R-1Z | 井原LC・笠岡LC・金光LC・矢掛LC・井原さくらLC・笠岡東LC

6R-2Z | 新見LC・総社LC・高梁LC・総社雪舟LC

### 2019年 5/25(土)

#### ■記念ゴルフ大会

●日時 2019年 5月25日(土)  
【受付】7:00 【スタート】7:30

●会場

鬼ノ城ゴルフ倶楽部  
〒719-1101 岡山県総社市奥坂666  
TEL:0866-99-8010

●競技方法

18ホール ストロークプレイ  
(ダブルペリア方式)

●登録人数

最大160名(40組)  
※希望者多数の場合は大会事務局で決定します。  
■ゴルフ参加費・・・5,000円(プレイ費自己負担)



### 2019年 5/25(土)

#### ■前夜祭

●日時 2019年 5月25日(土)  
【受付】18:00

【祝宴】18:30~20:30

●会場

ホテルグランヴィア岡山  
〒700-8515 岡山市北区駅元町1-5  
TEL:086-234-7000

■登録料・・・13,000円



### 2019年 5/26(日)

#### ■代議員分科会・代議員総会・式典

●日時 2019年 5月26日(日)

【登録受付】8:00~8:40 (代議員受付)  
8:30~11:00 (一般登録受付)

【代議員分科会】9:00~9:45 (第一分科会)(第三分科会)(第三分科会)

【代議員総会】10:00~11:00

【大会式典】11:15~12:45

●会場

総社市スポーツセンター・きびじアリーナ  
〒719-1132 岡山県総社市三輪1300  
TEL:0866-93-2100



事務局

ライオンズクラブ国際協会336複合地区 ガバナー協議会事務局  
〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

ライオンズクラブ国際協会336複合地区 第65回年次大会事務局  
〒719-1137 岡山県総社市駅南1-2-9 アルパーク総社201  
TEL:0866-31-8012 FAX:0866-31-8013 E-mail: lions.md336taikai@gmail.com

LIONS CLUBS INTERNATIONAL MULTIPLE DISTRICT 336



ガバナーローガン

No try No change!

キーワード

Wa(和)

### We Serve

ライオンズクラブ国際協会336-A 地区

2018-2019年度 道前キャビネット事務局

愛媛県西条市三津屋南10-20 通所介護センターまほろば 3F

TEL: 0898-52-8920 FAX: 0898-52-8921

E-mail dozen@lc336a.org

2019.第105号

発行日 平成31年4月15日

発行所 336-A地区 道前キャビネット事務局

発行人 関野邦夫

編集 MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会

印刷 第一印刷株式会社

# 地区ガバナー所感

## Project-Sに秘めた想い

ライオンズクラブ国際協会336-A地区

地区ガバナー 関野 邦夫

ガバナースローガン「No try No change!」  
キーワード「Wa (和)」  
地区スローガン「Service Activity is the key to Lions clubs」

ギラつく屋外には陽炎、猛暑のラスベガスでした。無数のガバナーエレクトロリボンが宙に舞う、あの熱気溢れた国際大会閉会式は私の脳裏にスローモーション動画で焼き付き、今でも鮮明に思い出すことが出来ます。しかし、それ以上に印象深く刻み込まれているのは、それから程なくのちのこと、平成30年7月豪雨災害支援のため南予に向かう車窓からの惨劇なのです。地区ガバナーとして最初の決断が第1回名誉顧問会議と第1回キャビネット会議の延期、それと並行して災害支援に着手、その経緯は地区誌「四国」104号冒頭ページで紹介させていただきました。未だ現地の復興は道半ばですが、いくつもの課題が浮上しています。手元に残っている義援金などの支援資金を以後どう使うのか、すぐに用立てできる新たなアラート基金創設が必要ではないか。将来的なアラート体制をどう築いていくのか。次期キャビネットへの引き継ぎに頭を悩ませています。去る2月15日、香川県社会福祉協議会との災害支援協定を締結致しましたが、これをまずは四国全域に届けられないかと思っております。引き続きのご協力・ご支援をお願いいたします。

さて、【Project-S】の話です。

今期はガバナーとして国際協会の情報をより早く、より正確に各クラブにお伝えするよう心がけてきました。【Project-S】は「遍路道清掃」だとか、あるいは「環境事業」推進だととらえている方が多いかもしれませんが、事実、表向きはそうなのですが、しかし、その本意はグドラン国際会長の思いを代弁しているのです。地区誌「四国」第103号の地区ガバナー所信冒頭にグドラン国際会長が重要分野として位置付けた項目を紹介しました。「会員増強を推し進めること」「リーダーシップ育成を強化すること」「ライオンズ同士の交流を推奨すること」、そして「私たちのストーリーを伝えること」です。ご存知のように石鎚山の天狗岳を道前キャビネットの象徴としてガバナーバッチのデザインに採用、バナーにも地区誌の表紙にも反映させました。その、私のストーリーのなかで、LCI5奉仕フレームワークのうち「環境」を取り上げ、テーマを『336-A地区を象徴する四国遍路とそれを取り巻く石鎚山、四国の山々に感謝と畏敬の念を表し環境奉仕活動を行う』と掲げ、取り組み方にグドラン国際会長の強調する重要分野を盛り込んだわけです。各主催者つまりクラブやゾーン或いはリジョンに具体的なことをお任せしたのも、トップダウンではなく各主催者の自主性を尊重したかったからで、そこから生まれる各クラブの主体性に大いなる可能性を期待しています。

当初は説明が行き届かなかったこともあり、寄せられる質問には躊躇が感じられました。にも拘わらず、多くの意欲溢れる取り組みをして頂き本当に有難うございました。

現在、お送りいただいた報告書の冊子化に取りくんできているところでございます。

今期も残すところあと少し・・・

「No try No change!」

このスローガンを胸に刻んで活動しましょう！

やがて、何かが変わるはず……

### Contents

- 1 地区ガバナー所感
- 3 プロジェクトS活動報告
- 11 YCE ウィンターキャンプレポート
- 14 記念式典記念行事
- 16 環境保全写真コンテスト
- 18 クラブ自慢のアクティビティ
- 28 ボランティア関連
- 32 林芙美子 生誕にまつわる話



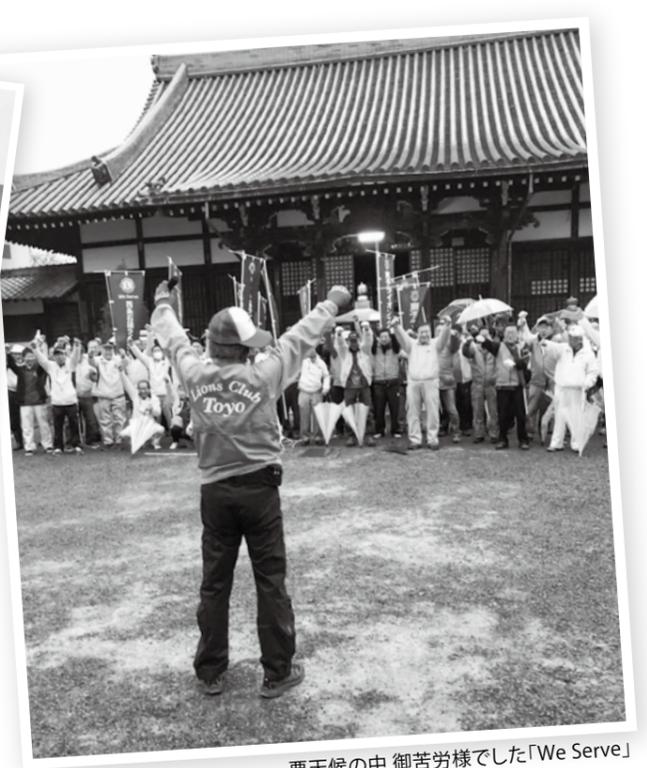
2R-4Z 多くの参加者の皆さん



お遍路さんと



ガバナー自ら



悪天候の中 御苦労様でした「We Serve」

表紙写真：石鎚山天狗岳  
題 字：関野 邦夫



# プロジェクトS活動報告



1 R・M・Cライオンズ情報・地区誌・大会参加委員  
新開 千富美

## 『プロジェクトS』始動

関野ガバナーの唱えられた環境整備事業「プロジェクトS」の合同アクティビティとして平成31年3月10日あいにくの雨でしたが、1リジョンは合同ではなくクラブ単位でのへんろ道清掃奉仕でした。

1ゾーン松山つばきライオンズクラブは、すでに前倒しで1月13日に道後温泉駅前から石手寺までガールスカウトの少女たちと二十五名で清掃奉仕を行っていましたが、三月十日も九名で奉仕活動に参加いたしました。早朝より3ゾーン松山南ライオンズクラブと2ゾーン松山北ライオンズクラブが、石手寺周辺のへんろ道清掃奉仕を行いました。松山つばきライオンズクラブの女性たちは雨をよけてお遍路さんへのお接待を行いよるこばれました。

そのほか、クラブアクティビティ計画で、すでに実施済みですが、松山中央ライオンズクラブ、松山センチュリーライオンズクラブもガバナー方針に沿ってへんろ道の清掃をおこなっています。また、その他のクラブは、今後の実施予定や環境保全奉仕で様々な清掃奉仕がおこなわれています。

四国はひとつ。石鎚山を中心にガッチリ組まれた336・A地区道前キャビネット。「プ

ロジェクトS」で環境問題について各クラブ、より一層考える機会になったのではないかと思います。清掃活動を行うたびに感じることは、最近の道路など、とてもきれいです。ポイ捨ても減り、市民の意識が向上してきています。これも、我々ライオンズクラブやボランティアの、地道な活動の賜物と思われまます。奉仕活動を終えて、参加会員のすがすがしい顔が写真からうかがえます。



松山北 石手寺周辺 クラブ建立句碑前で

## 嵐を呼ぶ男ふたたび？



2 R・M・Cライオンズ情報・地区誌・大会参加委員  
鈴木 恵眞

昨年、私は、336・A2R合同アクティビティ遍路道清掃活動に参加しました。

それは、2R内17クラブが、四国88ヶ所遍路道の今治市内から四国中央市内まで(約110km)を一斉に清掃活動するという事業です。爽やかな五月晴れの朝、我々2R3Zのメンバーは、それぞれ事前に割り振られた担当地区に分かれて清掃作業をしました。新緑に包まれる、山々に映える白い雲、道には白いポイ捨ての塵、食べかす、空缶、空瓶、異臭放つ黄色い液体の入ったペットボトル：白い軍手をはめた手で拾いながら歩きました。

さて、3月10日(日)、336・A関野ガバナー提唱の、地区内全クラブが協力し総延長1,400kmに及ぶ遍路道の清掃奉仕を行うプロジェクトS、四国88ヶ所遍路道清掃が四国全域雨模様になか決行されました。前哨戦とも言える昨年5月の2R合同清掃は天候に恵まれたのですが、明日は低気圧が日本を横断するとかで、開催を危ぶむ声もあり早々に延期を表明したクラブもありました。前日に開催された4Z第3回地区ガバナー諮問委員会の席上、関野ガバナー自ら「私は、嵐を呼ぶ男と皆から呼ばれているん

ですよ」と暴露されました。ガバナー就任後の出来事(地区誌104号参照)からそう呼ばれることになったようですが、どうか今回は何事もなくおわりたい、石鎚さんにもお願いもするけれど、安全にも配慮しつつメンバーの気持ちを一つにして「和」の精神で清掃活動に参加していただきたいと挨拶をされました。

みんなの力で低気圧を蹴散らそうと言われてかどうか定かでは無いのですが、当日開けてみれば大した障害もなく、私が所属する3Zでは出発最初こそ小雨が降りましたが後は曇りでスムーズに担当する遍路道の清掃活動を終えることが出来ました。

四国も広いもので、ずぶ濡れになりながら清掃奉仕を続けた地域、クラブがあったようですが、関野ガバナーのお膝下2Rは穏やかに結願しました。この清掃作業を通して地域の方々にライオンズをMCするのも大事ですが、清掃作業をする我々を見てポイ捨てをする人が心を改めてくれることを願うばかりです。

それにしても、車で何気なく走っているとなかなか気付きませんが、歩いてみると色々な塵がけっこう落ちてくるものですね。



落ちて無い様でも有…んですね



65番 三角寺



お疲れさま



先は長いね～



私が嵐を呼ぶ男でござす



貴方落ちないですよ



松山センチュリー 太山寺



松山南 石手寺周辺



松山中央 鴨川周辺



松山つばきガールスカウトと



へんろ道道標前 石手寺周辺



お接待



3 R・M・Cライオンズ情報・地区誌・大会参加委員  
正司 弘

# Project S

## 1 環境事業テーマ

『336-A地区を象徴する四国遍路とそれを取り巻く石鐘山・四国の山々に感謝と畏敬の念を表し環境奉仕活動を行うプロジェクトSに参加して』

## 2 タイトル

・あげいさんと心の繋がり・

四国八十八箇所霊場第43番札所「源光山明石寺」。お寺の名は正式には、明石寺(めいせきじ)です。国道56号線または県道237号線から側道に入った愛媛県立宇和高等学校の近隣に位置し、本来は、明石寺(あげいじ)、地元では「あげいさん」の愛称で親しまれています。

開祖は、欽明天皇(539〜571年)の時代に頼願によって円手院正澄という行者が千手観世音を安置し、七堂伽藍を建立したとされています。天平6年(734年)には、寿元行者(石鐘山を開いた役行者)7〜8世紀に奈良を中心として活動していたと思われる、修験道の開祖とされている人物から5代目に当たる人物が紀州熊野より十二社権現を勧請、12坊を建立して、修験(山伏)のことで、修行して験力を顕す道)の道場としました。その後弘仁13年(822年)、嵯峨天皇の頼願により弘法大師が巡錫し、荒廃した伽藍を再興し、霊場に定めました。建久5年(1194年)には源頼朝が自身の命の恩人である池の禪尼の菩薩を弔って、堂宇の修繕を手がけました。この時に山号は「現光山」から「源光山」に改められたと言われています。その後は武士の帰依が篤く、室町時代には西園寺氏の

祈願所となつたほか、江戸時代には、宇和島藩主伊達家の祈願所となりました。現在でも、一日中巡礼者が途切れることなく心のよりどころとなり、6月の土用の丑の日、8月の祭事には地域住民の他近隣市町村からの参拝者で賑わっています。

前述したように、四国遍路文化は当地域にとっても切っても切れない「おもてなし文化」の礎となっています。本年、道前キャビネットが石鐘山をとりまく四国遍路文化に注目され、愛媛県西条市(2R4Z)の4クラブで協働運営され、ガバナリーの提唱されておられます環境事業「プロジェクトS」の取り組みは、地域ボランティア活動を見直す原点に繋がり、当クラブL会員も「We Serve」の精神で3月10日(日)に活動を実施しました。

当日は、あいにくの小雨模様でしたが、L会員の心意気で小雨を振り払い、心を「あげいさん」に託し明石寺境内の他、参道の清掃に取り組みました。参加者は、宇和ライオンズクラブ会員、近隣野村ライオンズクラブ会員、宇和L家族会員、L会員の協力団体の方々の参加で協働事業を実施出来ました。主な奉仕活動は、境内参道の清掃作業でした。ゴミ袋で20個のゴミを回収し、翌日市役所環境衛生課の処理場に運びました。作業後は、参加者に明石寺境内にある茶屋の方に温かいお茶の接待を受け、地域と繋がる団体のひと時と隣人愛のすばらしさを掴み取りました。

同日、各クラブとプロジェクトS事業ができたことを嬉しく思うとともに、環境事業を共有できたことに感謝申し上げます。



明石寺



参加者集合写真野村L会員・家族会員・団員



境内大木下の枯れ葉処理するL会員



「おもてなしのお茶」で御接待風景



参道水路の溝清掃L会員と子ども



境内の梅の花と協力団体の清掃

## 336-A地区合同プロジェクトSに参加して



小豆島ライオンズクラブ  
三木 義雄

事業第二委員会委員長

小豆島ライオンズクラブは、二月十六日(土)午前九時より土庄町滝宮にある八坂神社に集合して、奥の院観音堂から笠ヶ滝までの『歩き遍路道』の清掃奉仕活動を実施しました。

昨年の十二月のクラブ理事会で、西崎博史ZCより336-A地区合同プロジェクトSとして、三十一年三月十日に四国遍路の世界遺産登録に向けた機運を高めるのが目的に、四国地区のライオンズクラブが各地区一斉に清掃奉仕活動に取り組みすることを申し合わせていると報告がありました。

小豆島ライオンズクラブでは、ライオンズデアクトとして毎年秋の行楽シーズン前の十月に実施している、どのよう観光協会のクリーンボランティアに十年続けて清掃活動に参加しています。

そこで、三月十日は『ライオンズの森』でオリーブの苗木の植え付けと追肥作業を計画していましたので、日程を二月中旬に決定しました。小豆島にも、古来より同行二人、祈りの聖地・小豆島四国八ヶ所の霊場があります。一月二十一日には、霊場

開きがあり、年二回(五月・九月)のふれあい徒歩大巡行が行われており全国から、春と秋を中心に年間数万人の大勢の人々が来られます。

当日は、雨もなく二月にしては暖かい一日で、ライオンズクラブのメンバー15人が参加しました。ライオンズメンバーは、険阻な遍路道(山道)約一キロの道のりを往復約一時間三十分かけて歩きながら遍路道に捨てられた空き缶を拾い、雑草の草抜きや枝切りバサミやナタを使い、遍路道を塞いでいる竹、枝を切っていました。

日常の生活から離れて、時空を越えて美しい山々、穏やかな海の景色と豊かな大自然の中での清掃奉仕活動になりました。参加したみんなは、安らぎとやりきった爽やかな笑顔をしておりました。まさに、島の新しい発見と新鮮な活力を得ることができました。今後も、清掃奉仕活動を続けてまいります。



滝宮八坂神社にて



笑顔の皆さん 御苦労様です



歩き遍路みちの清掃奉仕活動



5 R・M Cライオンズ情報・地区誌・大会参加委員  
藤田 裕憲

## プロジェクトS

三豊ライオンズクラブのある三豊市には第六十七番大興寺、第七十番本山寺、第七十一番弥谷寺の三ヶ所の札所があります。桃の花咲くこの候には、のどかな田園風景のなか歩き遍路の方も多くなり、地域には欠かす事の出来ない光景となっています。

今回プロジェクトSに当たっては、クラブメンバーの紹介で大興寺の住職さんをお願いし奉仕作業をさせて頂く事になりました。

大興寺は三豊市南部、讃岐山脈の麓に位置し、地元では大興寺というより、山号にちなむ小松尾寺と呼ばれています。七百四十二年東大寺末寺として建立され、現在は真言宗の寺院であるが、往時同じ境内で真言天台二宗が兼学したという珍しい来歴を持ちます。そのためか天台宗の影響が大きく本堂に向かって左側の弘法大師堂とともに、右側に天台大師堂があるという配置にその名残を留めています。見どころは本堂の「七日燈明」本堂で赤い蠟燭を七日間灯し、祈禱して頂くもので、病氣平癒、安産、良縁などの御利益があります。また仁王門の金剛力士像は仏師として名高い運慶作と伝えられます。

さてプロジェクトS当日は朝からあいにくの小雨でしたが、前週の例会の時小雨決行との会長の号令があり、午前九時に境内南の大興寺駐車場に

メンバー十六名が集合し、駐車場周辺のフェンスからまるツタの撤去作業を行いました。鎌、ハサミ等道具は準備していましたがフェンスに細かくからまるツタには道具は役にたかず、結局ほぼ手作業で悪戦苦闘しながら、一時間程で五十メートル余りのフェンスのツタ全てを撤去し終わり、作業終了かと思いきや、撤去したツタの量の多いこと。処分に準備した車は軽トラック一台だけ、後駐車場を見渡しても、さすがライオンズクラブメンバーこんな時には役立たず、高級乗用車ばかりです。土木屋のメンバーが四トンダンプを取りに帰り、ツタを積み込み無事作業終了となりました。また5Rの各クラブも残念ながら雨天中止もありましたが、下の表の通り活動しました。



第六十七番札所 大興寺 山門



作業風景



三豊LCメンバー集合写真



亀山5R-2Z ZC



7 R・M Cライオンズ情報・地区誌・大会参加委員  
松尾 眞理子

## ライオンズの心と行動で四国は一つ！世界遺産に！

早春の四国路に響く鈴の音、菜の花がゆれる野の道を白い装束に笠・金剛杖姿のお遍路さんを見かけると、心豊かに遍路を巡って下さる様に願うのも四国に住まう人の想いではないでしょうか？救いを求めに巡礼される人達よりどころとなる道筋を、世界一のボランティア団体ライオンズの仲間達が心をこめて掃き清めるプロジェクトSを目指して、7Rの取り組みは、11月、6・7R環境保健委員による市内14クラブ遍路道分担当の作成と各クラブへの周知徹底からスタートしました。クラブに持ち帰り、独自の取り組み、検討をお願いしていましたが、2月のR会後に具体的活動案が発表され、マスコミ対策として取材引き受けクラブの呼びかけで高知桂LCが決まり、各報道機関への取材依頼を行いました。3/10(日)は生憎の雨予報により、5クラブが中止を決め、高知桂LCも中止となり、取材としては心えられなかったが、翌11日の全クラブへのアンケート結果で実施は15LC中、8LC、他日実施2LCでした。参加人数78名が高知の東半分の遍路道を清めたことになりました。高知鷹城LCは青龍寺周辺を11名、室戸LCは雨の前日9日に24番札所最御崎寺遍路道を8名、高知鏡川LCは、雪隠寺から種間寺の中間までを5名

(午前8時から始めた時はさほど降ってなかった雨が時間がたつ毎に強くなり1時間弱で切り上げた。意外と多かったゴミに驚いた)高知南LCは種間寺周辺で一部実施2名、土佐国府LCは南国市ながお温泉から国分寺まで2名、高知黒潮LCは竹林寺から禅師峰寺まで13名、高知りょうまLCは雪隠寺近くの桂浜花街道(3/10に姉妹クラブ下関LCの周年があり2/24に実施)14名、土佐山田LCは大日寺(国分寺の戸板島橋・松本大師堂まで3名、土佐本山LCは28番大日寺から29番国分寺間のながお温泉から松本大師堂まで2名、土佐香南LCは香南市のいち駅から大日寺、戸板島橋まで18名という状況でした。実施できなかったクラブは今後の検討をお願いします。高知安芸LCは以前より地元遍路道沿いの大山岬浜千鳥公園を毎月、継続事業として清掃しているが、昨年8月の台風被害により公園内の休憩所等が倒壊したため、作業が中断しているとのことでした。各LCの取り組みを大切に、目標として「安全」「必要性」を掲げ、地域の人にライオンズの活動と理念を伝えられる試みになりました。四国中のメンバーが一致団結して、遍路道の世界遺産推進の一助となる行動が実現できたプロジェクトSでした。



高知鷹城LC 青龍寺周辺



土佐山田LC 松本大師堂 遍路小屋にて



土佐香南LC 08:00香南市庁舎駐車場に18名集合。生憎の雨で雨具着用で清掃。遍路道は比較的清掃が行き届いていて、空缶が落ちている程度だった。



高知りょうまLC 四国霊場33番札所である雪隠寺近くの桂浜花街道を清掃



高知鏡川LC 雪隠寺～種間寺の中間まで5名参加した



室戸LC 四国第24番札所最御崎寺、東参道約1kmを上下4名ずつに分かれて約2時間の清掃活動

5R プロジェクトS実施予定一覧			
坂出白峰LC	H31.3.10(日)9:00~11:00	田尾坂公園清掃	メンバー18名
綾歌郡LC	H31.3.10(日)9:00~11:00	綾川町滝宮公園清掃	メンバー10名・綾川町男女共同参画4名・オイスカ四国研修センター8名
坂出シニアLC	H31.3.2(土)7:30~(9.10日アクティビティの予定のため)	坂出市内遍路道	メンバー20名
観音寺LC	H31.3.10(日)9:00~11:00	第68番札所 神恵院・第69番札所 観音寺	メンバー18名
普通寺LC	H31.3.21(木)8:00~10:00	普通寺市吉原町大池さざなみ公園周辺	メンバー9名
多度津LC	H31.3.10(日)8:00~10:00	道隆寺参道から葛原八幡の森までのお遍路道	メンバー19名
三豊LC	H31.3.10(日)9:00~11:00	第67番札所大興寺参道周辺清掃	メンバー16名
こんびらLC	H31.3.10(日)9:00~11:00	四国別格二十霊場17番札所 神野寺清掃	メンバー15名・地元の方約30名
観音寺中央LC	H31.3.10(日)9:00~11:00	第68番札所 神恵院・第69番札所 観音寺	メンバー11名

丸亀LC・坂出LC・丸亀京極LC・宇多津LCは合同で丸亀城内を清掃予定でしたが、雨天で中止となりました

1Z 鳴門	二番札所境内清掃	2Z 阿波池田	六十六番札所の遍路道に距離等を記載した案内版設置
鳴門西	一番札所でお接待※	脇	八十八番札所境内清掃
眉山	5クラブ合同で三番札所から四番札所の遍路道一斉清掃	鴨島	十一番札所周辺清掃
松茂空港		阿波	十番札所でお接待※
藍住		神山	町内の遍路道清掃※
板野		徳島藍	十三番札所遍路道清掃
北島			

1.〈活動予定〉  
 今期の関野ガバナーが提唱した「プロジェクトS」、3月10日の遍路道一斉清掃について、事前に9R各クラブの活動予定を問い合わせたところ、次の通りでした。



9 R・M Cライオンズ情報・地区誌・大会参加委員  
 山島まゆみ

「プロジェクトS」活動報告について

※1Z鳴門西LCは毎年2回、一番札所でお接待を行っています。  
 2Z阿波LCは10月21日に実施しました。  
 神山LCは、毎年町内の各種団体が2ヶ月に1回アドプト事業を行っています。

2.〈実施状況〉

3月10日、当日は雨のため活動を延期したクラブもありました。  
 今回、私は遍路道清掃を実施した1Z北島LCと2Z徳島藍LCの取材に行ってきました。

1Z北島LCは他の4クラブと合同で、三番札所「金泉寺」から四番札所「大日寺」までかなり大がかりな遍路道清掃を予定していましたが、当日は雨模様で各クラブが清掃ルートを変更しました。北島LCは五番札所「地藏寺」と三番・四番札所の分岐点である「愛染庵」という所から四番札所までの遍路道の清掃を行うことになりました。清掃前に5クラブが集まって記念撮



8 R・M Cライオンズ情報・地区誌・大会参加委員  
 豊永寛二

「プロジェクトS」各クラブ活動報告

徳島マリニアライオンズクラブ

H31.3.14  
 参加人数 12名  
 マリニア北緑地公園の清掃を行った。普段から清掃されているせいかゴミはあまりなく、1時間程度で終了した。



徳島すだちライオンズクラブ

H31.2.24  
 参加人数 14名  
 第365回例会お世話したい例会。四国八十八ヶ所霊場19番札所立江寺の遍路道・境内の清掃作業を行った。清掃事業の後、お世話したい事業として、ブースを構え地元の名産「金長饅頭」にメッセージを焼印したお饅頭を配った。



上板ライオンズクラブ

H31.3.2  
 参加人数 13名  
 アドプト吉野川・とくしまマラソンコースの清掃。各自が「燃やせるゴミ」と「燃やせないゴミ」用の袋を持ち、横一列に並ぶ形でアドプト区間・六條大橋北詰〜第十樋門間の堤上道路、堤法面及び河川敷の清掃を行った。



徳島吉野川ライオンズクラブ

H31.3.3  
 参加人数 16名  
 四国をつなごう遍路道清掃へ吉野川清掃。クラブの名前にちなんで結成当初から吉野川清掃を行ってきた。プロジェクトSでも新吉野川橋南岸600メートル付近の清掃を実施。更に3月17日にあるとくしまマラソンのランナーのみなさんが気持ちよく走れるようにと思っている。



影をした後、私は北島LCと一緒に同行させてもらいました。遍路道は思ったよりきれいでしたが、それでも時折捨てられているゴミを拾い、和気あいあいと皆で楽しみながら清掃を行い、より一層きれいな遍路道にすることができました。



集合写真



清掃もよう

2Z徳島藍LCは十三番札所「大日寺」の遍路道清掃を行いました。八十八ヶ所には「大日寺」という札所は3カ所あるそうですが、この十三番札所の住職は徳島藍LC元メンバーの金昇先さんです。八十八ヶ所で彼女は初の外国人住職となり、色々とお苦勞もあつたよう

です。  
 清掃を予定していた時間にはかなりの雨が降っていましたが、全員がカッパを着てびしょ濡れになりながら行った結果、たくさんゴミを回収することができました。また、今回は別のアクトで交流のあったFC徳島のメンバーも清掃に参加してくれ、とても有意義なアクトになりました。



徳島藍ライオンズクラブ



最後に、このプロジェクトが「四国遍路道を世界遺産に！」を実現するための足がかりになれば嬉しいです。



# 国を越えて響き合う 若者達のウィンターキャンプ

YCE・ライオンズレオ・国際関係委員会 委員長  
青井俊夫

…はじめに…

今期のサマーキャンプはA地区B地区それぞれ単独開催となったが、ウィンターキャンプは対象YCE生が少ないこともあり(A・B地区合わせて5名)例年通り合同で開催することになった。

- A地区 オーストラリア男性1名・イタリア女性1名
- B地区 マレーシア女性1名・東マレーシア女性2名

ウィンターキャンプはスキーがメイン。しかし今年雪が降らない。スキー場にはまったく雪がないらしい。

## 12月22日(土) 第1日目

例年通り集合場所は岡山駅。行先は岡山県新見市のいぶきの里スキー場。宿泊先の「新見千屋温泉いぶきの里」の送迎バスに全員乗り込む。同行するのは岡山後楽レオクラブ・東国際レオクラブ合わせて10名。

バスの中では自己紹介を行い、誰がYCEでも、昼には融けてしまっていたそうだ。やっと本日スキー場オープンにこぎつけたらしい。

朝食後、スキー用品のレンタル店にてウェアのサイズ合わせをして一行はゲレンデへ。10時よりスキー教室が開かれた。スキーは初めてという人が多いけど、オーストラリアのデイメローは来日の前からスキーが楽しんでいただけに結構うまかった。そしてイタリアのカミラは自前のスキーウェアを一式準備していたくらいで上手に滑っていた。

ライオンズの関係委員も昔はもっとうまかったはずと言いながら存分に楽しんでたようだ。

こいぶきの里は「千屋牛」だけでなく「千屋温泉」も有名です。ゲレンデに出なかつた我々は一日中温泉三昧です。さてスキーを楽しんだ若者達が帰ってきて夕飯。みんなずっと以前の友人のように和気あいあいと食事を楽しんでた。YCE生は公衆浴場は初めての体験だったようだが、すぐ慣れたようだ。これも日本の文化なのでいい経験が出来たと思う。今夜も大広間で夜更けまでワイワイ最後の夜を楽しんで交流を深めていた。

## 12月24日(月) 第3日目

さて最終日。朝食を済ませ宿舎を下って2〜3分、ヤマメの釣堀へ出かけます。

E生が分らないくらいすっかり打ち解けていた。開村式は午後4時より関係各位の出席のもと難波B地区YCE委員長の開村宣言・司会で始まり、YCE生の自己紹介、レオクラブの紹介を行い3日間のスケジュールの説明の後バナーの交換、記念品の贈呈など滞りなく終了。

開村式の後は大広間にて地元鳥取県日野高校郷土芸術部による「荒神神楽」の上演を全員で見学させてもらった。八岐大蛇退治を神楽化したダイナミックな舞にYCE生をはじめ全員魅了され引き込まれていった。夕食は地元特産の「千屋牛」を頂き、和気あいあいと親善交流を深めた。夜は大広間を時間制限なく開放してもらって、ゲーム等夜更けまで楽しんでた模様。

## 12月23日(日) 第2日目

さあ今日は一日中スキー三昧だ。スキー場にはかろうじてなんとかスキーが出来るくらいだが、白銀のスロープがあった。これまでに人工降雪機で夜に何度も雪の斜面を作っ

YCE生、レオクラブのメンバー全員竹竿にエサをつけたり、つけてもらったりして釣り開始。すぐに釣れる人、なかなか釣れない人、それでもしばらくして全員一匹ずつ釣られて納竿。釣ったヤマメは焼くか唐揚げにしてもらって昼食時に出示してもらった。段取り。宿舎に戻って昼食前にレポートの作成を

してもらおう。その後、閉村式となった。YCE生5名の他協力してくれたレオクラブのメンバー全員がキャンプの感想を発表した。最後に金礦336・B地区第2副地区ガバナの閉村の挨拶があり、青井336・A地区YCE委員長の閉村宣言により今期の336A・B合同のウィンターキャンプは終了した。

…おわりに…

その後、釣ったヤマメでの楽しい昼食会も終了して、もうそろそろ送迎バスで岡山へ帰ろうと促しても若者達はもう少しだけ楽しみたいと動かない。やっぱり国を越えても言葉の壁があっても人の心は通じ合うものがあると思つづく思つた。

これから先、彼等の将来が楽しみです。キャンプを通じてグローバルな人間に成長してゆくことでしょう。B地区の皆さんありがとうございました。一度336複合ABC D全地区合同のキャンプなどやってみてほしいものです。



高松源平ライオンズクラブ



高松源平LC 初代会長に感謝状贈呈



また会う日まで



集合写真



記念式典開会



祝宴 余興(フラメンコ)

高松源平ライオンズクラブは、25年前に八栗ライオンズクラブのスポンサーにより香川県で28番目のクラブとして結成されました。25周年記念事業として、LCIFに100\$の献金をし、香川アイバンクの事業とセ

高松源平ライオンズクラブは、25年前に八栗ライオンズクラブのスポンサーにより香川県で28番目のクラブとして結成されました。25周年記念事業として、LCIFに100\$の献金をし、香川アイバンクの事業とセ

のバイオリン演奏でたいへん盛り上がり、祝宴では、イスパニアフラメンコ舞踊によるフラメンコ、青柳妃姫さんの

式典は厳かに行われ、ご来賓の方々からの温かいお祝いの言葉を頂戴し、三〇周年記念事業の報告、当クラブに貢献された特別功労者として元地区ガバナー・地区名誉顧問石川俊夫氏の表彰などを行いました。

### 結成25周年記念式典

高松源平ライオンズクラブ会長 松原健治

私達高松源平ライオンズクラブメンバー一同は、12月9日に記念すべき結成25周年記念大会を迎えることが出来ました。

カンドハンドへ、金一封を寄贈しました。また、高松市立古高松南小学校に綴帳を、高松市立古高松小学校に本棚をそれぞれ寄贈しました。

私達は今後も地域の環境作りや青少年の健全育成に力を尽くしていきたいと思っています。最後に25周年記念事業にご協力くださった皆様に感謝致します。

### 三木さぬきライオンズクラブ 結成三〇周年記念式典を終えて

三木ライオンズクラブ会長 山田伸彦

平成三十一年二月九日に結成三〇周年記念式典を挙行いたしました。衆議院議員玉木雄一郎氏、地区ガバナー関野邦夫氏など二二名の方々にご臨席賜り、盛会にて無事終了できましたこと、心より感謝し御礼申し上げます。

参加クラブの会員相互の交流の輪も広がり、楽しくにぎやかな祝宴となりました。三〇周年記念式典を終えて、クラブ会員一同、結成時の原点に立ち返り、さらに社会奉仕に精進し、ライオンズの高揚に邁進する所存です。



### サマーキャンプ来日生感想

#### CHOY JAY SHI マレーシアF

このキャンプはとても楽しく、私にとって刺激的な経験でした。私はとても親切で親しみやすいたくさんの新しい友達が出来ました。日本の文化とオーストラリア、イタリアの文化など新しい事を学びました。そしてこれらの文化はとても興味深かったです。食事はすばらしく、器はとても大きかったけど、私は日本食が好きだから完食しました。スキーは初めての体験でした。とても楽しかったです。今度は本物の雪の上でスキーをしてみたいです。ありがとう。とても楽しく、たくさんの思い出が出来ました。

#### PUI XIAN XIAN 東マレーシアF

岡山駅まで電車で行き、ライオンズクラブの人に会いました。彼らに会えてうれしかったです。伊吹の里にバスで行きました。着いたけど雪がなく残念でした。地元の高校生の伝統芸はすばらしかったです。スキーはとても難しい、でも楽しかった。クリスマスパーティーをしてゲームをしました。ここでとても親しくなり楽しみました。午前4時頃寝た。釣りで行事は終わった。寂しい。今までで最も楽しいキャンプだった。日本でのいい思い出、ありがとうライオンズ。

#### CHELSEA CHOONG 東マレーシアF

キャンプは楽しかった。違う国から来たたくさんの友達とここで会うことが出来、私はここで過ごした時間をありがたく思っています。私達はたくさんのゲームをして楽しみました。今日皆が去るのが悲しい。最初の日のゲームナイトは楽しかった。スキーはワイルドで冒険的だ。ゲームナイトとスキーで私は社交的になった。彼らは皆フレンドリーだ。私達はお互いの国と言語を学びお互い知り合えた。それは間違いなく忘れられないキャンプです。たくさんの友達の人となりを知りえて良かった。ここでのサービスもすばらしい。食事はおいしく、普段たべることが出来ない量が出てきた。全体的にキャンプは素晴らしく、とても楽しかった。ありがとう。

# 336-A地区環境保全写真コンテストについて

環境保全・保健福祉・アラート委員長 篠原 悟

今回、環境保全写真コンテストを開催したところ、年末年始の行事が多い時節の中、多数のご応募を戴き心より感謝申し上げます。従来のライオンズクラブ国際協会環境保全写真コンテストは既に廃止されており、この環境保全写真コンテストは336-A地区が新たに企画し、各リジョン、ゾーン、クラブで実施している環境保全事業の活動や成果を示す環境保全写真を募集したものです。去る2月6日に道前キャビネット事務局において厳正なる審査を行い受賞者が決定されました。最優秀賞は6R3Z宿毛ライオンズクラブの濱田周子様の『宿毛駅前花壇清掃』、1977年宿毛レオクラブ発足から継続している国道321号線(サニーロード)の花壇清掃です。優秀賞は8R2Z上坂ライオンズクラブの多田徳光様の『フラワーロード花壇の葉牡丹』、1993年の第48回全国身体障害者スポーツ大会をきっかけに始まったフラワーロード花壇の維持管理です。どちらも継続事業の花壇清掃活動が選出されました。その他の応募写真もどれも皆様の環境保全に対する真摯な取り組み、関心の高さがうかがえました。皆様のご協力に心より感謝致します。

## CN25周年の記念式典を終えて

高知桜ライオンズクラブ会長 細木 鷹子

高知桜LCは、1993年11月30日、高知北LCをスポンサークラブとして結成、12月10日に認証され、翌年3月3日CN。今年3月3日に25周年を迎えました。

当日は、早くからお越し頂いた皆様の為に、抹茶席を用意し寛いで頂きました。

式典では、結成に至る迄ご尽力頂いた皆様と、歴代会長や会員の努力で今の桜LCがある事に感謝しました。また10周年には高知とさみぎLCをスポンサーし、12周年で姉妹提携した大韓民国のソウル美星LCのメンバー5名の皆様が、遠路はるばるお越し頂き、チマチョゴリの正装で華やかに

さ添えて下さいました。記念事業の発表ではLCIF交付金の決定を頂き「オーテピア高知声と点字の図書館」に録音図書再生機を贈呈したこと等々10項目の発表をしました。

高知県知事、高知市長、336-A地区ガバナ、美星LC会長、高知北LC会長の祝辞を頂き、記念講演では笑いの渦、祝宴では皆様への感謝をこめ会員全員で高砂を謡い、私が舞い、皆様に祝福されながら「ライオンスピリット」また逢う日までを会場一体となつて歌い、別れを惜しみながら閉会となりました。



尾崎県知事より感謝状をいただく細木会長



みんなでライオンスピリット



閉宴後、ソウル美星LCの方々と記念写真、皆の笑顔がはじけています。

## 今治中央ライオンズクラブ55周年記念例会・祝宴・新会員入会式を開催

今治中央ライオンズクラブ会長 菊川 誠久

3月9日、今治市長、関野ガバナをはじめとする来賓の方々のご臨席の下、今治中央ライオンズクラブ結成55周年記念例会・祝宴を開催致しました。

昨今のライオンズを取巻く環境は、会員数減少や高齢化など時の流れと共に大きく変化しており、如何に対応、変革していくかの重要さを感じています。今回も記念例会という形を取り、華美にならないよう変化を試みたくつもりです。そんな中でも、3名の新会員入会式も同時に行う事が出来、記念例会に華を添えることができました。

昨今に触れようをテーマに今治西高出身である西武Lの熊代選手をはじめとする現役プロ野球選手による少年野球教室や、今治在住の実業団女子バスケットボールチームのオレソングロッサムによるバスケットボール教室を小学生対象に開催し好評を得ました。また環境整備の一環として市内大新田公園入口に投手を横つた施設案内板を寄贈させていただき園内のスムーズな移動に寄与できるものと思っております。最後になりますが、今後とも今治中央ライオンズクラブにご指導とご鞭撻を受け賜りますようお願い申し上げます。



3名の新会員入会式



チャーターメンバー卓話「今治にしかないもの」



今治少年少女合唱団

## ライオンズクラブ国際協会336-A地区 2018-2019年度 環境保全写真コンテスト 結果報告



最優秀賞

撮影者 ハマダ ノリコ  
濱田 周子

写真の題名 「宿毛駅前 花壇清掃」  
撮影場所 宿毛市駅前町  
土佐くろしお鉄道 宿毛駅前

事業の説明 その他、特記事項

1977年宿毛レオクラブ発足から継続して国道321号線(サニーロード)の花壇清掃を行ってきました。2015年宿毛ライオンズクラブ結成50周年記念事業として、宿毛駅前中央分離帯に花壇を新設し環境保全に取り組んでいます。又2018年には宿毛市の(平成30年度宿毛でお花おもてなし事業活動)補助事業のコンセプトと合致し、秋と春にレオクラブメンバーと植え替えを行い、定期的な除草作業はレオクラブメンバーにて行ってもらっています。



優秀賞

撮影者 タダ トクミツ  
多田 徳光

写真の題名 「フラワーロード花壇の葉牡丹」  
撮影場所 徳島県板野郡上板町神宅町道357号線沿い

事業の説明 その他、特記事項

1993年(平成5年)に第48回全国身体障害者スポーツ大会の開催地となったことがきっかけで、美しい町、花いっぱい町として選手団を歓迎しようと、町が管理していた緑地を上坂ライオンズクラブが借り受けて、春にはマリーゴールドを、秋には葉牡丹を植えている。丁寧な移植前の施肥、薬剤散布そして移植後の丹精込めた水遣り、除草作業等の結果、美しい花が咲き、道行く人の目を楽しませて早や四半世紀となる。



# クラブ自慢のアクティビティ

四国中のライオンズクラブ会長さん宛に「自慢のアクティビティ」の投稿をお願いしましたところ、100に届きそうな記事をいただきました。皆さんのオリジナリティ溢れる多数のアクティビティに驚かされました。大変参考になりました。メンバーの皆さん、本当にありがとうございました。



**松山ホストライオンズクラブ**  
第59回肢体不自由児療育キャンプ（2018年8月4～6日）  
松山沖の興居島泊南集会所にて3日間寝食を共にして、県内の障害児、青少年のボランティアとライオンズ会員が障害児の自立とボランティア育成を目的に行いました。



**松山東ライオンズクラブ**  
第27回松山市小中学生相撲大会、平成30年10月14日(日)開催。  
こどもたちの挨拶や礼儀作法などを大切に考え、青少年の健全育成を願って毎年7月に開催している松山市小中学生相撲大会です。



**1 Region 松山つばきライオンズクラブ**  
平成三十年十月二十八日、CATVで日本語暗唱コンテストを開催。中学、高校一般三十九名が熱唱し表現力を競った。日本語の豊かさ言葉の文化を次世代へ引き継ぐ為に、世代を超えての対話と交流は大人と子供の絆を深めました。



**松山城山ライオンズクラブ**  
アクティビティ名「サンタチャレンジ2018年12月9日開催」障がいをかかえる「チャレンジ」子ども達にクリスマスプレゼントを送ろう。この事業は2013年から初めたアクティビティで、今期が6回目となりました。今後は松山の街をサンタコースで歩く事で街の活性化にも協力していきたいと考えています。



金賞

撮影者 オオニシ タダカズ 大西 忠数

写真の題名 「満開」  
撮影場所 横峰寺



銀賞

撮影者 タカハタ カズヨシ 高島 一芳

写真の題名 「ライオンズ奉仕デー一の宮海岸清掃」  
撮影場所 観音寺市豊浜町一の宮海岸



銅賞

撮影者 ミヤモト ケンイチ 宮本 賢一

写真の題名 「杏の実収穫」  
撮影場所 大西公園



キャビネット賞

撮影者 ウチダ タカコ 内田 貴子

写真の題名 「台風一過の有明浜」  
撮影場所 有明浜



環境保全賞

撮影者 コンドウ ジュン 近藤 淳

写真の題名 「風早の夕日」  
撮影場所 北条長浜海岸



MC賞

撮影者 タマイ カンジ 玉井 莞爾

写真の題名 「見守る」  
撮影場所 湯浪休憩所から横峰寺までの遍路道 国指定史跡「横峰寺道」



岡部 歩乃佳 等 アジアパラ競技大会出場 壮行会

**新居浜ライオンズクラブ**  
岡部歩乃佳選手アジアパラオリリンピック競技会出場壮行会(平成30年9月29日(出)) 壮行会には70名以上の会員が集まり、日の丸の旗に一言ずつ寄せ書きを致しました。日本代表が新居浜市から生まれた喜びに沸いた会となりました。



今治くるしま 不法投棄

**今治くるしまライオンズクラブ**  
不法投棄ゴミ撤去事業。  
2019年2月11日。  
参加人員200余名!  
撤去・回収した不法投棄ゴミ4トン超!  
詳しくはネットかYouTubeで!



**伊予土居ライオンズクラブ**  
当クラブは1年を通して地球環境を守る活動を実施しています。特にラブリバー活動は小、中、高校生や各種団体に呼びかけ、地域の皆様と一緒により美しい町づくりを目指して「清掃活動に取り組んでいます。」



**四国中央法皇ライオンズクラブ**  
資金獲得事業。  
2018年11月17日・18日。  
産業祭に例年バザーと献血奉仕で参加。  
バザー用品減少につき牛丼販売も行い、対前年比213%と大成功。



**西条石鐘ライオンズクラブ**  
こどもたちに贈る夢のコンサート。  
2019年1月25日 西条市立三芳小学校で。  
当クラブ会員でピアニストの高畑綾さんのプロデュースで、地域の子供たちに、本物の音色を楽しんでもらっています。



**新居浜中央ライオンズクラブ**  
「もちつき大会」  
2018年12月23日実施。  
新規事業として試み実施。新居浜の喜光地商店街にて餅つきをし、地域の皆さんにバック詰め餅を購入してもらいました。大変好評であり、良い交流となりました。



**今治ライオンズクラブ**  
サイクリングの聖地へ「サイクリング車」贈呈。2018年10月18日。  
今回で5回目のサイクリング車の贈呈です。我々のアクティビティの自転車がサイクリングの聖地であるしまみ海道を駆け抜けています!!



**今治東ライオンズクラブ**  
薬物乱用防止教室を市内小中学校9校にとりまわす。薬物乱用防止大会報告リソンの薬物乱用防止教育認定講師養成講座を講師として第65回地区年次大会分科会事例報告をしました。当クラブは薬物乱用防止に関する講義内容もごらんになるべくともたご発表しみなさんも、将来で記憶に残る教室を目指し、2019年11月20日薬物乱用防止地区大会にて



**伊予三島ライオンズクラブ**  
知財広め隊セミナーin愛媛。地域の活性化に対して、日本弁理士会が主催し、同クラブが共催する形で、「四国は紙国」紙産業の集積地で知財を活用した地域おこしを、知的財産を活かした中小企業の戦い方を学ぶ」と題して知的財産セミナーを実施しました。平成31年1月11日。



**川之江中央ライオンズクラブ**  
第19回川之江中央ライオンズクラブ選抜少年柔道大会。  
平成31年1月14日。  
今年は32チーム196名の幼児から小学生が参加しました。青少年健全育成を目的とした四国四県規模の柔道大会です。



**松山西ライオンズクラブ**  
第2回専門医と語り合う健康を守る会。  
平成30年11月17日。  
市民を対象に、糖尿病・すい臓がん介護の専門家を講師に招きセミナーを開催し、テレビ・新聞に取り上げられました。



**松山道後ライオンズクラブ**  
松山少年少女合唱団 夏季合唱訪問(2018年7月21日(出))  
毎年恒例の夏季合唱訪問。年を追う毎に合唱団への出演オファーが増えています。団員数は50名を超え、クラブとしても更なる助成を行って参ります。



**松山中央ライオンズクラブ**  
第16回松山女子ソフトボール大会。第16回松山女子ソフトボール大会。第16回松山女子ソフトボール大会。第16回松山女子ソフトボール大会。



**松山センチュリーライオンズクラブ**  
姉妹都市との国際交流。国際交流事業、経済交流の促進と活性化を目的とし、10月30日、本市の姉妹都市、ドイツ、シュッパークツェラインブルグ市経済訪問団との交流会を開催。



**2Region 新居浜ひうちライオンズクラブ**  
第23回小学生バレーボール大会。  
(2018年9月15日(出)・16日(回))  
新居浜市民体育館をメインに市内5会場で開催された。県内外から42チームが参加して2日間熱戦を繰り広げた。



**砥部ライオンズクラブ**  
YCE事業(第12回愛媛大学の留学生15カ国17名と砥部焼研究グループの1日陶芸交流会。ほほえましいカタコトの日本語と英語らしきコトバが飛びかう。手とり足とりロクコと絵付けに悪戦苦闘の末、感激の完成に思わずウレシイの笑顔が嬉しい。※後日、焼成して届けた。



**松山北ライオンズクラブ**  
「二日里親」と愛媛大学在留の留学生との交流会。  
平成30年9月2日。  
児童養護施設の児童と留学生を招待し、地引網・B・Q・海岸清掃を実施。



**松前ライオンズクラブ**  
はんぎり競漕出場。  
2018年8月4日(土)  
松前町夏祭りのイベントにPR活動の一環として初めて参加しました。来年も頑張りたいです!



**松山南ライオンズクラブ**  
第32回ライオンズカップ松山地区中学生ソフトテニス大会(2018年8月11日・12日) 青少年健全育成のため毎年松山南LCが取り組んでおり、普段部活動を影で支えている控えの選手を対象とした大会として、毎年900名ほど参加があります。



**松山金亀ライオンズクラブ**  
第16回松山金亀ライオンズクラブ旗争奪少年ソフトボール大会。  
2018年10月・11月開催。  
台風の影響で10月・11月に分けての開催となった大会ですが、子供たちは力一杯戦い、観戦する会員もいつも感銘を受けております。



**南宇和ライオンズクラブ**  
ライオンズ奉仕デー片の浜清掃。14団体約80名のご参加を得て、御荘湾片の浜周辺のゴミを回収。美しい自然と希少生物を守っていくため、今後も取り組みますので行きます。  
2018年10月27日。



**野村ライオンズクラブ**  
31年1月10日、野村保育園に10万円を寄付、31年1月16日、仮設住宅に毛布100枚寄贈。昨年の7月豪雨災害には皆様の物心共々に温かいご支援をいただき本当に有難うございました。今年に入り野村LCとしてアクティビティを実施しました。



**小豆島ライオンズクラブ**  
第53回音楽フェスティバル。音楽の道を志す小豆島の若い人達に、発表と経験を積む機会を提供している。入場無料で鑑賞いただいている。  
2018年11月18日(日)



**三木さぬきライオンズクラブ**  
薬物乱用防止教室実施。三木町立田中小学校6年赤組で、薬物乱用防止についてのDVD、テキストを用いて児童と対話をしながら教室を行った。  
平成31年1月22日(火)



**志度ライオンズクラブ**  
献血。17年秋から、地元の大学での年2回の献血を支援することとした。献血者にお菓子詰め放題を行い、また、骨髄ドナー登録を呼びかけている。  
2018年11月13日(火)  
12:00~16:30



**鬼北ライオンズクラブ**  
「献血協力」  
10月23日フジ広見店で献血に協力。年3回の献血奉仕を行ってきたが、北宇和高校のご協力により、前年度から年4回実施している。



**伊予吉田ライオンズクラブ**  
清掃奉仕作業  
11月11日(日)50年前に当クラブが寄贈したJR伊予吉田駅駐輪場の除草・清掃作業を行いました。この日は秋晴れに恵まれ、気持ちいい汗をかきました。



**高松ライオンズクラブ**  
高松ふしぎ発見隊！「高松にいちばん近い島」鬼と灯台の物語」子供達のより良い成長への環境作りを考え、讃岐の歴史や由来を学び親子のふれあいを図ることを目的として開催しました。  
2018年8月10日(金)  
7:30~16:30



**八栗ライオンズクラブ**  
うどん接待献血奉仕。我が献血事業はうどん接待します。今回コープ傘下店は、百三十八人の受付で、メンバーも、お馴染みさんの接待で大わらわでした。  
2月24日(日)  
九時~十五時半受付。



**高松グリーンライオンズクラブ**  
献血協力者が2,000人を達成。2003年から続けている献血奉仕で11月23日に協力者が2千人に達し、節目の献血者となった方に会長から感謝状と記念品を贈りました。



**東予ライオンズクラブ**  
国際交流YCE生受入・派遣。  
Pei-Chen Chen  
Pei-Chen Chen  
Toyo Lions Club welcomes you  
(7月17日~8月6日)  
一色建輝君派遣  
(8月5日~26日)  
2人共、良い経験となりました。



**伊方ライオンズクラブ**  
献血奉仕。年間5回の献血奉仕活動をしている。2月14日には伊方発電所構内で実施し、目標数180名のところ、献血者183名(受付192名)の方に協力して頂き目標を達成することができた。  
平成31年2月14日。



**内子ライオンズクラブ**  
2月6日(水)午後1時過ぎより、内子婦人会の協力も得て、25年間継続実施の「みどり苑」へ餅つき慰問をいたしました。



**八幡浜ライオンズクラブ**  
西日本豪雨チャリティーコンサート。  
会長の発案により沢山の方々に協力頂き大成功。収益金の全てを義援金として南予の被災地に送り届ける事が出来ました。  
平成30年11月10日(日)18:30~



**宇和島ライオンズクラブ**  
みどり寮もちつき奉仕。  
44回を数える児童養護施設「みどり寮」でのもちつき奉仕。  
子供たちの愛情がこもった、つきたてのもちに心が温まる冬の恒例行事です。  
2018年12月1日。



**西条ライオンズクラブ**  
餅つき交流会。毎年年末になると、市内の高齢者福祉施設と知的障害者福祉施設の2ヶ所にメンバーと企業からのボランティアメンバーが分かれ、餅つき大会を行います。一般社会との交流の一つとして重要で効果のある事業として施設の皆様からも大変喜ばれています。2018年12月8日実施。



**3Region 宇和ライオンズクラブ**  
「西日本豪雨」災害支援活動。  
支援物資の受入れ・配布、義援金、ボランティア活動、社協連携、335複合地区レオ会員の受入れ活動等に取り組んだ。  
2018年7月6日~10月末(継続支援活動中)



**伊予長浜ライオンズクラブ**  
リバイバル・リング  
復興への架け橋  
7月の豪雨災害からの復興を願うイベントへ参加し、売上金全額を大洲市災害対策本部へ寄付した。  
2018年8月18日。



**保内ライオンズクラブ**  
保内の子どもたちに贈るコンサート。青少年スキルアップの二環として、今年もピアノ・黒田映李氏、N響ホルン奏者・今井仁志氏を招き、町内の小学校でコンサートを開催した。  
平成30年10月2日。



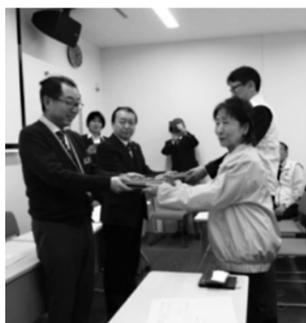
**八幡浜みなとライオンズクラブ**  
第15回魚の絵コンテスト。今回で15回目を迎えた魚の絵コンテスト。市内の小中学生から1,102作品の応募があり、審査会にて選ばれた56作品を表彰。全作品を展示。平成30年10月17日(木)審査会。平成30年12月8日(日)16日(日)全作品展示会(市民ギャラリー)平成30年12月16日(日)表彰式(同会場)



**こんぴらライオンズクラブ**  
薬物乱用はダメ。ゼッタイ!教室。満濃南小学校で初の開催。教員が児童の心を掴む内容であり、皆終始真剣に聴いていた。頭に残るよう、皆で最大の声でダメ。ゼッタイ!とコールをし、薬物乱用防止の意識を高めた。児童からの感想文には、薬物の恐ろしさなどよく理解してくれていて大変意義のある教室になった。2018年11月8日(木)



**三豊ライオンズクラブ**  
保育園でのもちつき奉仕。クラブ結成初期から行っている保育園でのもちつき事業が今年度で45回目をむかえました。保護者の方も多数参加していただきライオンズの活動を知っていただく良い機会になっていると思います。2018年12月6日(木)



**高知桜ライオンズクラブ**  
録音図書再生機器贈呈。3月3日CN25周年の記念事業の一つで、高知県全域の障害者の皆様のために、オーテピア高知声と点字の図書館に46台贈呈しました。2019年1月25日



**高知ときみずきライオンズクラブ**  
ライオンズクエスト「ライフスキル教育」プログラム&小児糖尿病支援事業、チャリティ大バザール。出店の方々には女性に喜んでいただけるさまざまな商品のご協力をいただき、ご来場の皆様楽しんで頂けるバザールとなりました。出店者には当日の売り上げの20%を寄付して頂きました。2018年12月2日



**高知北ライオンズクラブ**  
YCE在住留学生支援 日本のお料理の伝統料理教室。毎年2回実施の高知大学の留学生とのお料理教室。今回は、日本の中でも特色のある3種のお雑煮と高知の伝統!血鉢料理を作り、美味しく楽しいひとときを大変喜ばれた。2018年11月24日・12月22日



**丸亀ライオンズクラブ**  
盲導犬学校キャラバン(新規事業)。丸亀市内の小学校2校の授業として、盲導犬の役割の学習と盲導犬の誘導の体験を行った。参加児童267名。2019年2月7日(木)



**観音寺ライオンズクラブ**  
有明浜の清掃活動。観音寺ライオンズクラブでは、2018年10月3日、観音寺の有明浜の清掃活動を有志で行い夏の汚れた有明浜を綺麗にしました。2018年10月3日



**善通寺ライオンズクラブ**  
市民ふれあいフェスティバル。第34回目となるクラブ主催のイベント「市民ふれあいフェスティバル」を開催。雪の滑り台、飲食バザー、厚生バザー、懐かしの映画等を毎年大勢の人に喜んでもらっている。2019年2月17日(日)



**高知東ライオンズクラブ**  
第11回高知東LC杯第27回春の全国小学生ドッジボール選手権高知県大会。優勝チームは全国大会への出場資格、上位8チームは四国大会への出場資格が得られます。大人顔負けの熱戦が繰り広げられました。2019年1月20日(日)



**高知柏ライオンズクラブ**  
チャリティピアノコンサート。各クラブの協力も得て380名の聴衆のもと開演。招待した少女ならに一流の音楽と感動を届けました。平成30年10月22日



**東かがわライオンズクラブ**  
クラブ結成40周年記念に河津桜80本を植樹、地元企業や地域の方々も協力して年間6~7回、草刈清掃や防虫駆除を実施し、今や市内最大の桜の名所となっている。



**高松栗林ライオンズクラブ**  
TAKAMATSUでもサミット。当クラブと市教育委員会との協賛で、昨年度に引き続き、TAKAMATSUでもサミットを2月17日高松市生涯学習センターで、高松市内4小学校による、地域のみなさんの交流による魅力を披露し報道機関にも掲載されました。2019年2月17日(日) 高松市生涯学習センター「まなびCAN」。



**高松空港ライオンズクラブ**  
『ときめきの森』フォレストマッチング。山地災害の防止、里山の環境保全を目的として、年2回高松市の市有林の竹の伐採、山桜の植林活動を行っています。2018年10月14日。



**坂出白峰ライオンズクラブ**  
野鳥保護奉仕活動。2019年3月2日(土) 五色台において午前9時から坂出市立林田小学校の皆さんと巣箱作り及び巣箱の設置を行いました。



**綾歌郡ライオンズクラブ**  
献血を年間計画7回に加え3回追加協力し、今期末までに10回実施予定。特に血液が不足した年始には3日間連続の献血を実施した。2018年8月より年10回。



**長尾ライオンズクラブ**  
子ども力餅運搬競技・力餅ぜんざい接待。1月7日四国霊場87番札所・長尾寺で『大会場』のメイン行事として「大鏡餅運搬競技」が開かれており、180kgという大鏡餅の運搬競技に徳島県等から10名余りが参加し、会場を沸かしている。



**高松北ライオンズクラブ**  
なわXなわジャンプ。小学生を対象になわとび教室、なわとび競技を開催しているパドッククラブの後援を毎年行っています。2019年1月20日。



**高松屋島ライオンズクラブ**  
高松屋島ライオンズクラブ第53回「秋の茶会」。2018年11月11日(日) 玉藻公園披露間で県内在住の外国人研究生や留学生らを招いて茶会を開催し、日本の伝統文化に親しんだ。留学生らは茶道について説明を受けた後、茶席に参加作法に戸惑いながらもお茶とお菓子を楽しんだ。



**5Region うたづライオンズクラブ**  
第15回中讃柔道選手権大会。当クラブ主催行事。中讃地区の小学生から一般選手まで多数参加し健全な心と技を磨く場を提供しています。平成30年9月16日(日)



**坂出ライオンズクラブ**  
坂出高校授業参加活動。青少年育成活動として坂出高校教育創造教員養成コースの生徒とメンバーとの交流授業を行いました。今回で3回目の授業で毎回テーマを決めて質問、発表がなされ、貴重な交流授業となっています。平成30年10月23日



**室戸ライオンズクラブ**  
ソフトボール大会。  
12月23日、室戸市内少年野球3  
チームで、今年43回目となる「室戸  
ライオンズクラブ旗争奪戦少年ソ  
フトボール大会」を開催した。  
2018年12月23日(日)



**高知黒潮ライオンズクラブ**  
骨髄バンク支援活動10年。  
「骨髄ドナー登録会」を行っていま  
す。登録に協力下さい。高知県のド  
ナー登録は、高知黒潮LCの活動  
で達成されています。  
34回実施。



**高知りょうまライオンズクラブ**  
第4回チャリティダンスパーティー。  
生バンドの迫力ある演奏のもと会  
員や会員以外のダンス愛好者総勢  
300人が参加するチャリティダ  
ンスパーティー。  
2018年8月20日。



**8Region 阿南ライオンズクラブ**  
北の脇海水浴場清掃。  
日本の渚百選に選ばれている美し  
い海水浴場です。当クラブでは毎年  
8月第一日曜日を海岸清掃の日と  
している。  
平成30年8月5日(日)AM6時  
〜7時



**石井ライオンズクラブ**  
徳島県OURロード・リバーアド  
プト事業。  
2018年7月12日。  
会員が朝6時半〜8時まで飯尾川  
河川と徳島鴨島線の路肩の清掃を  
行いました。この事業は年6回実  
施しています。



**高知南ライオンズクラブ**  
高知聖園天使園「鏡デイキャンプ」。毎年恒例の  
「聖園天使園鏡デイキャンプ」に園児21名、先生6  
名、南会員11名の総勢38名が参加し川遊びを楽  
しみ、午後からパーベキュー、宝さがし、スイカ割  
りなど夏の思い出となりました。子どもたち  
の笑顔に我々も元気をもらい、年々の成長を楽し  
みにしています。平成30年8月4日(土)



**高知桂ライオンズクラブ**  
まんが甲子園支援事業。  
まんが甲子園参加の高校生全員に  
ハンダナを贈る。  
デザインは伊野商業高校に依頼。  
18作品の中から商店街人気投票等  
を経て1点を決定。  
2018年8月4日(贈呈日)



**高知中央ライオンズクラブ**  
平成30年11月23日(金)10時半に  
香南市山北「土佐の高知のくだも  
の畑」に現地集合で児童養護施設子  
供の家の子どもさんと「みかん狩り」を  
楽しみました。美味しい木には人が  
たくさん集まってきました。木によっ  
て味が違うのにびっくりしました。



**土佐香南ライオンズクラブ**  
桜苗木植樹30本。香南市野市町桜の広場  
にて午前9時30分から。クラブ員、眞辺前会長を  
含め7名、クラブ員と香南市小松商工水産課長  
を含め計14名、桜の苗木30本を植樹。クラブ歴  
代スロガシ「香南を桜の里に」二万本植樹に  
対して現在6421本。あと3579本にな  
ら。奉仕努力21時間。奉仕金額¥39,000



**徳島マリニピアライオンズクラブ**  
2月24日(日)9時40分から14時  
30分まで子供達が仕事を体験する  
イベント。  
「ぶらざタウン」がマリニピア沖洲  
で開催されました。  
今年も地元クラブとして様々な協  
力をさせて頂きました。



**土佐ライオンズクラブ**  
子供達と楽しい花植え。  
土佐市内全小学校9校で春と秋に  
子供達と花植えを実施。子供達を  
取り巻く環境整備と青少年健全育  
成を目的とし、今期で26年目の継  
続事業である。



**大方ライオンズクラブ**  
七夕飾りでおもてなし(土佐佐賀駅と土佐入野駅実  
施)。小学の児童をもちろめ、幼稚園の  
との想い、始めは目録児童代表の飾り付け始めの  
号令に合わせ児童100名保護者等64名がクラブ会員  
の持つた竹自分達、袋に飾り付けた。孫みい  
な児童を前に竹を持ち手が緊張しました。平成30年6月  
30日7月7日まで土佐くしお鉄道駅内で展示。



**宿毛ライオンズクラブ**  
高齢者福祉老人施設支援。  
老人2施設をレオクラブと訪問。  
クリスマスケーキ・手作りリースを  
サンタクロース姿でプレゼントの  
後、皆で合唱。楽しい一時を過ごし  
ます。



**7Region 高知鷹城ライオンズクラブ**  
第11回ちびつ子ハゼつり大会。  
2018年10月7日(日)実施。  
親子で参加してもらったことにより、  
親子の会話や触れ合う機会が増え  
る一助になればと思います。ちびつ子ハ  
ゼつり大会を実施している。



**高知鏡川ライオンズクラブ**  
3LC合同第5回復興支援(西日本豪雨)チャ  
リティーコンサートの開催。平成30年7月、西日  
本豪雨で被害に遭われた方々のために、私達に  
何かできるか考え、高知まごいLC、高知とさ  
みずきLCが協力して復興支援西日本豪雨チャ  
リティーコンサートを開催しました。2018年  
11月9日(金)18:30〜20:00



**伊野ライオンズクラブ**  
11月11日「伊野福祉会アハウス  
いのにて」の町立神谷小中学校  
の落語くらぶによる「出前落語」と  
森下雅文会長による詩吟を実施し  
高齢者との交流を図りました。  
約一時間の交流でありましたが皆  
生き生きとした笑顔を見せていました。



**中土佐ライオンズクラブ**  
町内の小学生全員に「防災頭巾」を  
贈呈。近い将来必ず発生する南海  
地震に対する備えと防災意識の確  
立の為、全小学生256名に、町内  
のパッチワークサークルの制作協  
力で「手作りの防災頭巾」を2月に  
93枚、12月に163枚贈呈した。



**四万十ライオンズクラブ**  
第16回四万十ライオンズクラブ国際平和ボ  
スターコンテスト。当クラブでは、子供達が平和ボ  
スター制作に取り組み、平和の尊さについ  
て、しっかりと考えた考えを持って欲しい、そして  
明るく平和な世界を築くために努力して欲しい  
と願って、このボスターコンテストに取り組んで  
います。2018年10月27日(土)表彰式。



**土佐清水ライオンズクラブ**  
ライオンズ公園「木木の森」の  
整備。  
ライオンズ公園の整備事業は年間  
を通して行っていますが、今回は市  
内の高校生や商工会婦人部と一緒  
に作業を行いました。  
2019年2月24日(日)



**高知よさこいライオンズクラブ**  
国際交流事業 点心とお茶会。高知  
工科大学留学生を招待して日本の  
伝統と文化である正式なお茶会と  
点心を体験して頂いた。留学生自  
身がお茶を立て、会員と共に点心  
を頂き楽しい時間を過ごした。  
2018年11月10日(土)



9月敬老の日には、在宅寝たきり老人宅を訪問。手作りクッションやティッシュカバーに手紙をそえてプレゼント。談笑をしても喜んで頂いています。

12月クリスマスが近くなると、市内老人施設2ヶ所を訪問。クリスマスケーキ・手作りリース等を可愛いサンタクロースの衣装を着てプレゼント。クリスマスソング・お正月・ふるさと等の曲を全員で合唱し楽しい

私達宿毛ライオンズクラブは「自分達の住む街、生活をする人々の事を考え少しでも役に立てる事」をモットーに頑張っているライオンズの活動を支援し、青少年の育成に寄与していきます。

「レオの灯を絶やすな」を合言葉にこれからもレオクラブの活動を守り続けていきたいと思っています。

### 「特別寄稿」宿毛レオクラブ元気に活動

YCEライオンズレオ 委員長 濱田 周子

宿毛レオクラブは1977年当初ライオンズクラブ家族会員が中心となり活動していました。

1993年からは県立宿毛高校の家庭科クラブを中心としボランティアに興味のある生徒がレオクラブに入会し地域奉仕活動に取り組んでいます。

継続事業として、土佐くろしお鉄道宿毛駅周辺の清掃、駅前バス停の花壇には四季折々の花を植え、除草作業、水やり作業等1年を通じて活動をしており宿毛駅を利用する人々、地域住民の人々の心を和ませています。

一時を過ぎします。

2月卒業前に活動を終えた3年生とレオクラブメンバー全員に1年間のお疲れ様会を行い、昼食会そして3年生には卒業記念品をプレゼントしています。

レオ活動を通して思いやりの気持ち、助け合う気持ちを育み、地域社会に貢献する事で「ありがとう」と涙を流して喜んで頂ける感動の体験から一人一人が成長していく事ができるでしょう。



クリスマスを彩る 手作りリース



11月なのに半袖で頑張っています!



みんなて合唱 楽しい一時



さすが!家庭科クラブ手作りクッション



**徳島吉野川ライオンズクラブ**  
ふれあい健康館に蜂須賀桜1本を植樹。徳島市植物園に移動し、蜂須賀桜一葉桜、河津桜と合計10本の植樹を行った。徳島市長と館長から感謝状をいただいた。  
2019年2月12日



**9Region 板野ライオンズクラブ**  
例会1,000回記念事業。町内各小・中学校に図書を寄贈。今後も定期的にライオンズ文庫として活用していただくよう継続して行う予定です。  
平成31年1月8日(火)



**徳島眉山ライオンズクラブ**  
第48回徳島県小学生・中学生剣道大会  
徳島市立体育館に、選手・保護者・関係者が約800名集まり、青少年の健全育成の為、毎年剣道大会を開催しています。  
2018年9月24日



**阿波池田ライオンズクラブ**  
さき草球根植え付け。  
三好市の花、さき草の苗を6月に黒沢湿原へ移植するために地元小学生と一緒に球根を植え付ける。  
2019年2月15日。



**徳島藍ライオンズクラブ**  
徳島藍LCチャリティー映画上映会。賛同を頂き、会員の負担は軽く、収益を上げる。この三点が達成でき、笑顔を沢山頂けるアクティビティとなりました。  
2018年11月23日(祝)  
一部10:00、二部13:30



**徳島城山ライオンズクラブ**  
小学生課外授業探鳥会。  
2018年8月19日徳島中央公園城山山麓にて、小学生夏休み課外授業として参加者60名の探鳥会を開催した。



**徳島中央ライオンズクラブ**  
金刀比羅花相撲ちびっ子大会。  
4歳から小学4年生までの約100人が男女別5部門に分かれて出場。  
2年振りの大会は取組同様に保護者の声援も熱かった。  
2018年10月28日。



**北島ライオンズクラブ**  
チャリティアンランinサンフラワードーム。  
参加人数259名+ボランティアスタッフ81名、チャリティー総額294,444円を国際協会を通じて全額寄付しました。  
2018年9月9日(日)



**阿波ライオンズクラブ**  
保育所クリスマス奉仕。  
阿波市内6ヶ所の保育所へサンタクロス、トトロ、ピーターラビットに扮した会員がプレゼントを全員に配る。  
2018年12月17日。



**神山ライオンズクラブ**  
少年野球教室の開催。  
徳島インディゴソックスによる少年野球教室を神山ルーキーズの選手を対象に平成30年10月20日(土)、神山町民グラウンドで開催。

「特別寄稿」全国アラートフォーラム in 神戸に参加して

3361A 3R11Z  
大洲ライオンズクラブ 寺尾 幸記

神戸で開催されるアラートフォーラムの情報を聞き、クラブ内メンバー数人に同行を求めまして、昨年7月の西日本豪雨災害のおり全国から支援物資等、愛媛県大洲市にトラックにて届けて頂いた御礼も兼ねて、参加させて頂きました。前日の交流会、そして当日のアラートフォーラムにて支援して頂いた方々にお会いしてご挨拶程度にはなりましたが、今回の目的の一つは達成しました。

フォーラムにつきましては北は北海道から南は沖縄まで全国各地から約460名のメンバーの参加となりました。開会の挨拶の後、歓迎の挨拶。そして来賓の兵庫県知事のメッセージに続き、ひょうごボランティアリーダーの鬼本所長代理より「災害ボランティア並びにライオンズクラブとの協働（災害多発時代から）」と題して基調講演が行われました。

基調講演に続いては各ライオンズメンバーによる事例発表となりました。先ず始めに昨年7月の西日本豪雨の

おり倉敷市真備町で支援活動された

335B地区の倉敷阿知ライオンズクラブの山下幹事と岡山みらいライオンズクラブの藤井前会長。そして9月の北海道胆振東部地震の報告の報告を331C地区安平ライオンズクラブの青山会長とそれぞれの地域での支援活動の報告をされました。

その後、事例発表された3名のメンバーと西日本豪雨の被災者でもある小野宗次336B地区第一副地区ガバナー（倉敷真備ライオンズクラブ）と335A地区橋本維久夫アラート委員長2名が加わり、坂本恵市335複合地区アラート委員長をファシリテーターにパネルディスカッションが行われました。

私たちは時間の都合で途中抜けてしまいましたが、当日の詳しい内容につきましては、ライオン誌日本語版ウェブマガジンのニュースの中で報告されてますので、そちらを御確認して下さい。  
我々大洲ライオンズクラブにおいて

災害時におけるボランティア支援に関する協定締結について

環境保全・保健福祉・アラート

委員長 篠原 悟

昨年7月の平成30年7月豪雨災害により336複合地区内ではあちこちで大きな被害を受けました。この災害支援の経験から災害時のボランティア支援への関心が高まり、2月に336A地区と香川県社会福祉協議会が災害時におけるボランティア支援に関する協定を結び、今後は他の四国3県の社協との協定締結を進める予定となっております。

1. 締結までの経緯

今期は当初から、関野地区ガバナーのもと地区キャビネット・当委員会二丸となつて豪雨災害被災地支援に取り組みました。この経験で痛感したのは、的確な情報と緊急支援資金確保の難しさでした。LCIF災害援助交付金プログラム（緊急援助交付金1万ドルの交付は速やかでしたが制約が多く、その報告手続きにも手がかかりました。災害時には各県社協が災害支援ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティア募集・派遣並びに救済物資・義援金の受付を担当します。当地区ではライオンズが社協から正式に認証されていないため、個人情報保護の観点から被災状況開示が限定的で緊急支援活動が後手にまわったという経緯があり、ボ

ランティア派遣希望があるクラブへの適切な対応が取れなかったという反省点もありました。7月末に香川県、4R地区委員より災害時におけるボランティア支援の協定を香川県社協と締結したいと要望があり調査してみると、四国では過去実例がなく、336複合地区内でもありませんでした。336複合地区ガバナー協議会ではそういった提案はありましたが、まだ動きはありません。335複合地区では過去の実績から関西広域連合との協定締結実績があり、連合の指導のもと地区が府及び各県と協定を結ぶという形をとっています。これは、現在の336A地区では困難だと判断し、まずリジョン主体で地区が各県社協と協定締結するという方法を検討しました。

2. 協定書案の作成

9月から本格的に協定書作成を始めましたが、県社協とライオンズの協定書式は一般に公開されていません。香川県社協では日本青年会議所との協定を締結していたため、その協定書を見たときに、ライオンズの奉仕活動にそぐうよう県社協と調整後、ようやく完成したのが現在の協定書です。この過程でご協力いただきました4R・5R

は新潟中越地震の時には小千谷小学校グラウンドにおいてうどん1000杯炊出しボランティア。東日本大震災の時は福島県双葉郡浪江町に愛媛みかん200箱（1箱5kg程度）をバスに積み込み、支援活動して参りました。

そして熊本地震の時には何かしら出来る事はないかと思索してたら「THE AM A L E R T A L L J A P A N」の存在を知り、愛媛県より米300kgを支援することにして、支援イベント会場の南阿蘇郡に向かったしだいです。

その時出来た全国のライオンズメンバーとの繋がりを大切にして、いつまた何処で何が起きるかわからないこの時代。当然ながら災害が起きぬ事を願いつつ、もしもの時には出来る事を今後も進めて行きます。

の地区役員・地区委員の皆さまには心より御礼申し上げます。

3. 協定内容について

協定内容について要約すると、ライオンズと県社協は平時から情報交換をしながら連絡体制の整備に取り組み、災害時に県社協からの要請に基づき、ライオンズは被災地へボランティアを輸送するバスやボランティア活動に必要な資材・機器などを無償で提供するなどの後方支援を担うというもので、ライオンズ以外へのPRにも繋がるため、ライオンズの奉仕活動も新たな段階に進むのではないかと期待しています。

4. 協定締結について

12月初旬、ようやく協定書が完成し、地区委員会を経て年末にキャビネット内局会で提案致しました。四国全県同時に締結という意見もありましたが、関野ガバナーの英断でまず香川県で先行させ、その後他の四国内3県へ、という方向で進めることになりました。地区名譽顧問会議で方向性をお認めいただき、キャビネット会議では田中4リジョンチャーパーソンよりご報告があり、2月15日正式に調印致しました。これも、ライオンズの諸先輩方が築き上げてきた信頼と歴史によるところが大きいと、改めてライオンズクラブの素晴らしさを感じた次第です。

5. 今後の展望

今回の協定締結を第一歩として、次は四国全県、引いては336複合地区全域へと輪を広げていき、中国四国防災連合が行政との連携で構築できれば素晴らしいと思っております。しかしそれ



には地区内で、関野地区ガバナーから友澤第一副地区ガバナー・酒井第二副地区ガバナーへと連綿と引き継がれることが必要であり、しかも他準地区での動きとなるよう「No try No Change」の精神で呼びかけ続けることが大切だと思えます。

もう一つの課題は、緊急災害支援の早期に必要な資金を速やかに手当てできる仕組みづくりではないでしょうか。LCIFには災害援助交付金プログラムがあり、当地区には緊急援助引当金、336複合地区には緊急援助資金がありますが、管理の体制から本来の緊急援助には使いにくい側面ももっています。現在、内局会（仮称）「336A地区アラート基金」の創設についての論議がすすんでいます。これは、今回の豪雨災害で寄せられた義援金の残金をベースにして、緊急時に比較的使いやすいものとして設定しています。できれば、オンラインでの臨時キャビネット会議を経て、地区年次大会の議決を経ることができないかと考えていますので、ご理解のほど宜しくお願い致します。

地球温暖化によるといわれる干ばつ・豪雨・台風の大規模な気候変動が深刻な問題となっている昨今、この地域では、近い将来南海トラフ地震が予測されています。ライオンズクラブにおいても、時代に合った防災の対応策を新たに具現化する時期がきているのではないのでしょうか。

# ライオンズクラブ国際協会と 災害時ボランティア活動支援協定を締結

ライオンズクラブ国際協会336

1-A地区(四国地区)(以下、ライオンズクラブ)と香川県社協は、災害時におけるボランティア支援に関する協定を締結しました。平成31年2月15日、高松市番町の香川県社会福祉総合センターで締結式があり、ライオンズクラブの関野邦夫地区ガバナーと県社協会長の西原義一副知事が協定書に署名をしました。

締結式では、西原会長から「被災者の生活の維持や再建に向けたボランティア活動に対する支援をいただく協定を締結できることは誠に心強い。」「関野地区ガバナーから「地域と一緒にボランティア支援を働きかけたい。」と挨拶をいただきました。

ライオンズクラブと県社協との協定は四国内では初めてのことであり、今後、ライオンズクラブは四国の他3県に同様の協定を結ぶよう働きかけます。

ける予定です。

また、この協定が災害時において有効に機能するようライオンズクラブと県社協は平常時から情報交換しながら、連絡体制の整備に取り組んでいきます。

## 「災害時におけるボランティア支援に関する協定」

ライオンズクラブが県社協からの要請に基づき、被災地へボランティアを輸送するバスやボランティア活動のための資機材を無償で提供するなど、被災地のボランティア活動への支援を行う。



## 林芙美子

### 生誕にまつわる話

キャビネット幹事

佐藤公平



玄界灘に面した九州北部の海岸地方にある小さな漁港は、昔は遊女町などもあり栄えた町であった。その坊城町の千鳥旅館に東京の中堅作家・小寺康司が投宿する。係女中、真野信子の恋人は文学青年の下坂一夫である。下坂は唐津の陶器店の息子で、同人雑誌を刊行し、中央の文壇に認められることを夢見ていたが、書く小説は決してうまくはなかった。家業を手伝いながら作家を自称する下坂に、信子は出版費用として多額の金を貸している。小説好きの信子は当然のように小寺に関心を抱いた。小寺は滞在中にはほとんど筆をとらなかつたが、留守中に部屋の整理をしていた信子の目に何気なく入ったのは、未完のまま書き棄てられた原稿用紙であった。それを読み、感心した信子が写しとって下坂に渡す……。

これは松本清張「渡された場面」



の導入ストーリーである。

信子の妊娠が悲劇につながった。下坂が別の女性と一緒にいると、信子に結婚話を持ちかけ、策略して殺すのである。しかし、この件は失踪事件として扱われた。その後、下坂が同人誌に出した作品が中央の目にとまる。文芸雑誌の同人作品評で絶賛されたその作品の原稿用紙六枚ばかりの部分は、信子が写した小寺の作だった。その作品に描写された風景は、四国のある県で起こった別の強盗強姦殺人事件の被害者宅付近と重なる。その事件を担当していた文学好きの刑事がそれを読み、作者の下坂が問題の力ギを握ると推察さ

れたのだが、下坂はその時期四国に渡っていない。偶然の一致だと逃れるなか、その謎が探られ、原稿盗用の疑いとともに身辺が探られていく。そして四国の事件は解決に向かい、やがて、信子殺害が判明していく……。

この「渡された場面」は、佐賀県の港町の旅館女中の失踪と四国で起こった殺人という全く別の二つの事件を同人雑誌作家の原稿盗用で結ぶ設定で、そこに新しい着想があったと評価されている。だが、ここで取り上げたのは清張を論じるためではない。「信子は、小説を書くつもりはなかったが、読むのは好きだった。女流作家では林芙美子にひかれる」と、係女中の真野信子が文学に興味をもつ設定で、林芙美子が登場するからである。文中には、林芙美子の幼少時代から東京放浪時代の部分的経歴があり、林芙美子が尾道で過ごしたところを題材にした「風琴と魚の町」が登場している。

松本清張は明治四十二年に小倉市で生まれた。現在の北九州市小倉北区である。清張と書いて、本名は

きよはると読む。給仕や印刷工を経て、朝日新聞西部本社で広告の版下を描くようになり、広告部嘱託を経て三十三才の時に正職員となった。二年間の衛生兵としての朝鮮出兵を挟んで広告デザインを担当、商業デザイナーとして注目された。職業遍歴の末、本格的に小説を書き始めたのは四十才を過ぎてからである。芙美子が没するちょうど一年前の昭和二十五年六月、「週刊朝日」が企画した「百万人の小説」に「西郷札」を投稿、これが入選して直木賞候補にあがった。



香川県社会福祉協議会発行  
月刊誌「福祉香川」3月号より

### 物故会員

#### 謹んでお悔やみ申し上げます

①氏名・享年 ②所属LC ③入会年月日 ④没年月日



①坂本健次郎(84歳)  
②6R-2Z 土佐  
③1965年11月19日  
④2018年12月15日



①長瀬 文恵(98歳)  
②6R-2Z 伊野  
③2012年4月1日  
④2018年12月10日



①落合 嘉吉(93歳)  
②4R-2Z 高知東  
③1996年4月23日  
④2018年12月7日



①栗飯原 学(83歳)  
②8R-1Z 阿南  
③1975年8月1日  
④2018年11月23日



①和田 利百(93歳)  
②3R-1Z 内子  
③1984年10月25日  
④2018年11月11日



①岡 周平(74歳)  
②2R-1Z 新居浜ひうち  
③1996年7月2日  
④2019年1月18日



①篠崎 和夫(81歳)  
②1R-3Z 松山白鷹  
③1992年3月19日  
④2019年1月12日



①近江 徳長(87歳)  
②7R-3Z 土佐本山  
③1988年1月1日  
④2019年1月11日



①武市 欣也(87歳)  
②2R-1Z 新居浜  
③1972年4月1日  
④2019年1月1日



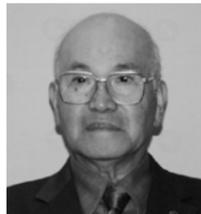
①生鷹 正男(65歳)  
②1R-2Z 松山西  
③2007年4月4日  
④2018年12月21日



①三谷 弘史(78歳)  
②9R-1Z 鳴門  
③1994年11月1日  
④2019年2月16日



①石井 和弘(76歳)  
②4R-2Z 高松源平  
③1993年12月5日  
④2019年2月15日



①石井 直和(91歳)  
②4R-4Z 高松紫雲  
③1971年10月13日  
④2019年1月31日



①大竹 哲也(90歳)  
②4R-4Z 高松屋島  
③1965年2月1日  
④2019年1月30日



①大藪 純一(83歳)  
②4R-4Z 高松屋島  
③1973年10月1日  
④2019年1月22日

その二年後『三田文学』に発表した「或る『小倉日記』伝」で第二十八回芥川賞を受賞、これが出世作となった。「西郷札」も「或る『小倉日記』伝」も九州の文壇に関わる作品であるが、林芙美子との繋がりで言えば「断碑」がある。

これは林芙美子が昭和六年秋から半年ばかりの滞欧で交友があった考古学者森本六爾をモデルにしており、彼はその頃林芙美子の恋人だとされていた。

清張が「渡された場面」に林芙美子を登場させ、係女中の真野信子が林芙美子を好きだという設定をしたのは、林芙美子もまた九州ゆかりの作家だったからに他ならないが、そのころの関門は、林芙美子生誕地に関する話題で揺れ動いていたのである。

林芙美子が生まれたのは、当初下関とされていた。

他國者と一緒になつたと云ふので、母は鹿児島を追放されて、父と落ち着いたところは、馬關の下関であつた。私が始めて空気を吸つたのは、その下関である。

これは『放浪記』冒頭の部分引用である。簡潔に記されたこの引用以外にも林芙美子はあちこちで下関生まれと書き、また自ら言いもしていた。プリキ屋の二階で生まれたと書き残したことから、下関の地で検証が重ねられ、下関市田中町のプリキ屋職人・横野敬吉の二階借間で生まれたという説が生まれた。そして昭和四十一年、その跡地近くの田中町五穀神社鳥居横に「林芙美子生誕碑」が建立されている。

しかし、それから六年後の昭和四十七年八月から翌十月にかけて、外科医井上貞邦が北九州市医師会機関誌『北九州医報』に「林芙美子と北九州」を連載し門司出生説を唱えた。翌年七月二十三日の「秋田魁新報」で国文解釈学会員・高橋誠一が「林芙美子のナゾ 門司生まれの新説」という論説をだすや論争となり、その十月三十日には全国版の毎日新聞学芸欄に「波紋を呼ぶ 林芙美子の出生地」が掲載され、NHKのラジオ放送や週刊朝日でも取り上げられている。その後、井上の検証からプリキ屋・板東只嗣の二



軒棟割長屋の二階との説が浮上、その結果、その長屋があった門司小森江浄水場の敷地内に二つ目の生誕碑「林芙美子生誕地記念文学碑」が建立され、昭和四十九年十二月一日に除幕式が行われたのである。その経過詳細は、のちに井上貞邦が井上康晴というペンネームで刊行した『二人の生涯』『林芙美子とその周辺』に纏められている。

「渡された場面」が『禁忌の連歌』

の第一話として「週刊新潮」に連載されたのは、昭和五十一年一月一日号から七月十五日号までのことであつた。つまり、清張の「渡された場面」設定の背景には林芙美子の生誕地論争があつたのだ。

こうして、二つの生誕碑を持つことになつた林芙美子だが、下関か門司かいずれの説にも確証はなく、真実の生誕地は今も謎である。

### 編集後記

今号はプロジェクトSの特集が目玉となつた為、当初の予定より少し遅めとなりましたが何とか第三号を発刊する事ができました。皆様も雨に降られたり寒かったりで大変ご苦労されたのではないのでしょうか。それでもその苦勞を楽しまれている様子が感じられる活動報告をいただきました。それと四国中のライオンズクラブ会長さん宛てに「自慢のアクティビティ」の投稿をお願いしましたところ100に届きそうな記事を送りたくて大変有り難く思いました。限られたページに掲載する為に50文字程度と写真一枚と表現し難かつたと思ひますし私も心苦しかったです。しかし全部の投稿に目を通させていたでいて皆さんのオリジナリティ溢れる多数のアクティビティに驚き、大変参考になりました。

年次大会を一週間後の4月7日にひかえ私は分科会での発表について試行錯誤をしている昨今です。発表の資料作成にあたり、これまでの委員長としての活動を振り返ってみております。今になつてもっと、あれもやれたはず！これもちやれなはず！来年、もう一年あれば、もっとしっかり活動できるのに、なんて妄想しております。

MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員長  
福山 宏